

# パパ職員に インタビュー！



臨床工学課

坂下 広樹さん



◆育休取得の  
きっかけ

◆取得する際の  
院内や部内の  
反応

◆育休を取ると  
伝えたときの  
奥さんの反応

◆育休中の  
過ごし方

◆良かった点・  
大変だった点

◆育休を終えて  
奥さんが感じたこと

◆職場復帰  
してみた

昨年、長女光彩（ひかり）ちゃんが誕生され、育休を取得された CE の坂下さんに、貴重な体験談を話していただきました！



—育休取得のきっかけを教えてください。

出産後は大変なイメージがあり、子供が産まれたら育休を取りたいと思っていました。

特に新生児期はその時期にしか関わることのできない貴重な時間であり、また職業的にも新生児について知りたいと思い、取得することに決めました。

—育休を取るにあたり、院内や部署内の反応はいかがでしたか？

自分が育休を取ることで、臨床工学課の皆にはどうしても負担がかかってしまうと懸念していましたが、好意的な意見しかありませんでした。

さらに管理職の方たちが「育休取ってこい！」と背中を押してくださり、有難かったです。

—奥さんは育休を取ることにどのような反応でしたか？

「パパも子供と多くの時間を一緒に過ごすことができる！」と賛成してくれました。

ただ、同じ部署の方々の負担が大きくなってしまふことは心配していました。



—育休中はどう過ごされていましたか？

夜中、子供が泣いて起きたときには一緒に起きて、奥さんに代わりミルクをあげたりオムツを変えたりしていました。

また、畑で無農薬野菜を育て、その野菜で離乳食を作ったり、パンを手作りしたりと、子供が産まれたらやりたいと思っていたことを全てできました。

—育休を取得して良かったこと、大変だったことを教えてください。

<良かったところ>

仕事をしていたら、朝子供が起きてきてもすぐに出勤しなければいけませんが、育休中は子供と一緒に起きたり、子供に起こされたり・・・(笑)ゆっくり過ごせる朝がとても幸せでした。また、初めて寝返りができたとき、初めて歩いたとき等、子供の「初めてできた！」瞬間に立ち会えたことが良かったです。

<大変だったところ>

お腹が空いたときや眠たいときにしか泣かない子だったので、  
(とにかく可愛くて) あまり大変だと感じませんでした。  
ママだと泣き止むのにパパだと泣き止まないときは、  
パパの無力さを感じました。



—職場復帰してどうですか？

職員の方々に「戻ってきてくれた～！」とっていただけたのが嬉しかったです。

—育休を終えて、奥さんの反応はいかがですか？

「娘の成長を一緒に見ることができて嬉しかった！3人で色々な遊び場へ出かけたり、旅行に行けて良かった。父親にもゆっくり子供と向き合う時間を作れるので、育休取得はとても良いと思う！」とっていました。



—最後に一言お願いします！

男性の育休は取りづらいと感じるかもしれませんが、自分は育休を遠慮して取らないことで後悔しなくなかったので取りました。「出生時育休」と「育休」の2種類がありますが、特に「出生時育休」は絶対取るべきだと思います！これから育休を取られる予定の職員にも、その時しか味わえない子供との幸せな時間を過ごしてほしいです。

—本日は貴重な体験談を話していただき、ありがとうございました！

このように、体験談をお話していただき発信することで、男性の育休について理解し合える職場作りに繋がると思っています。

---

### **【育児休業】**

出産予定日から子供が1歳になるまでに最大1年間、2回まで分割して取得できます。

### **【出生時育児休業】**

従来の育休とは別に、出生後8週間以内に、28日を上限として2回まで分割して取得することができます。